



動静脈連携による資源循環システムの強化に関する研究

- ・一般社団法人広島県資源循環協会；三谷哲也，政藤信夫
- ・株式会社山陽レック；中川明雄
- ・株式会社オガワエコノス；井上英樹
- ・県立広島大学生命環境学部；西村和之
- ・広島工業大学環境学部；崎田省吾
- ・県立総合技術研究所保健環境センター；河原陽介
- ・県立総合技術研究所西部工業技術センター材料技術研究部；菅坂義和
- ・広島県環境県民局循環型社会課；金子健一
- ・株式会社マルシン；金島聡吏
- ・東広商事株式会社；西本英樹
- ・広島大学大学院工学研究科；中井智司
- ・県立叡啓大学ソーシャルシステムデザイン学部；下ヶ橋雅樹

1. 研究の背景

欧州においては、再生プラスチックの使用を義務付ける制度や規制案を発表。

日本においても将来的に規制が世界的に拡大していくことも予想され、メーカー各社が再生材の導入を進めていく等、国内においても再生プラスチックの需要拡大の可能性有。

廃棄物等を効率的・循環的に有効利用する循環経済（サーキュラーエコノミー）への移行が重要。

サーキュラーエコノミーへの移行に向けては、動脈側と静脈側の情報を整理する必要があるが、具体的な取組を行う上での情報が不足。

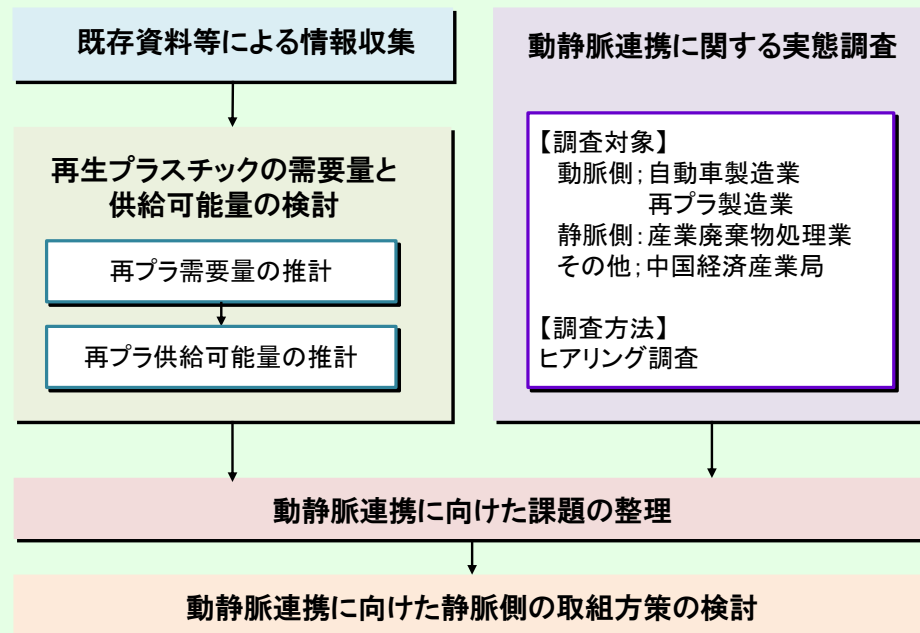


図1 研究の全体フロー

2. 研究目的

項目	内容
対象廃棄物	廃プラスチック類
研究目的	➢ 動静脈連携の検討を行う上で必要となる基礎資料を収集。 ➢ 動静脈連携に向けたボトルネックの抽出と取組方策の検討。

3. 研究の成果

(1) 再生プラスチックの需要量と供給可能量の検討

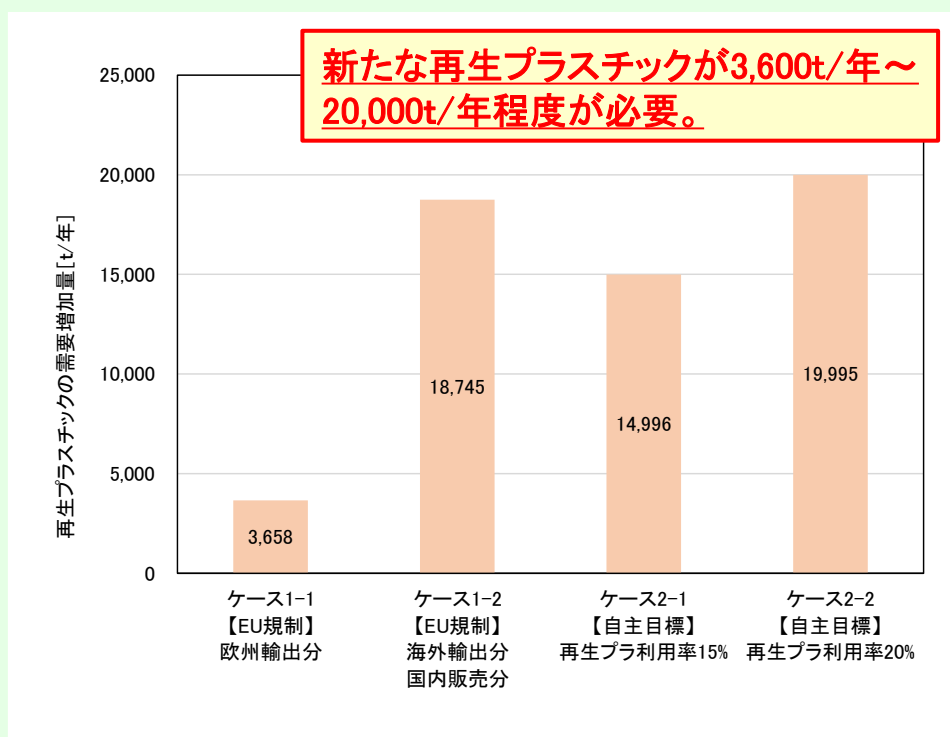


図2 再生プラスチックの需要増加量の推計結果

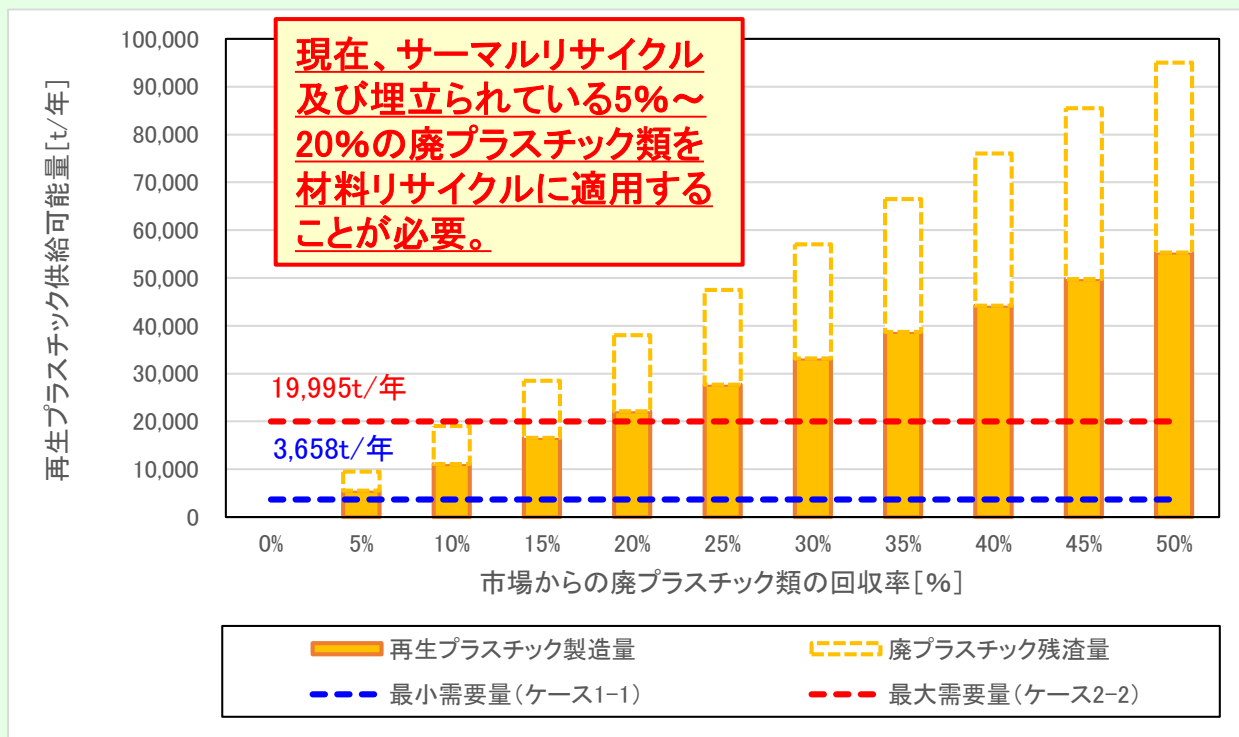


図3 再生プラスチックの需要に対応するための供給体制の推計結果

(2) 静脈連携に向けた課題及び静脈側の取組方策(案)

